

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.4	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル				-	-	-	-		
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能				-	-	3.0	-		
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音				-	-	3.0	-		
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温				-	-	3.0	-		
2 外皮性能				-	-	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				-	-	3.0	-		
2.3 空調方式				-	-	3.0	-		
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率				-	-	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				-	-	3.0	-		
3.2 グレア対策									
1 昼光制御				-	-	3.0	-		
3.3 照度				-	-	3.0	-		
3.4 照明制御				-	-	3.0	-		
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質				-	-	3.0	-		
4.2 換気									
1 換気量				-	-	3.0	-		
2 自然換気性能				-	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				-	-	3.0	-		
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
Q2 サービス性能					0.43			3.0	
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性				-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観				-	-	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画				-	-	-	-		
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計				-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	3.0	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な上位3種の内、2種以上にB使用、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.7	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.25	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.25	-	-		
3 電気設備				3.0	0.25	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.25	-	-		
5 通信・情報設備				-	-	-	-		

3 対応性・更新性			3.1	0.50	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比=0.11	4.0	0.40	3.0	-
3.2 荷重のゆとり				2.0	0.30	3.0	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-	-
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				1.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.0
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制				-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.13	-	-
3 設備システムの高効率化			BEI=非住宅 0.75 住宅(専用部) -	3.5	0.63	-	-
4 効率的運用				2.5	0.25	-	-
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制				2.0	0.50	-	-
集合住宅の評価				3.0	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-
1.1 節水				3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.22	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.22	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-
1 消火剤			不活性ガス消火剤を使用	4.0	0.33	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			発泡剤を用いた断熱材不使用	5.0	0.33	-	-
3 冷媒				3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率88%	3.4	0.33	-	-
2 地域環境への配慮				2.2	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制				1.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-
2 振動				-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			照明チェックリストの過半を満たし、広告物照明はない	5.0	0.70	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-